

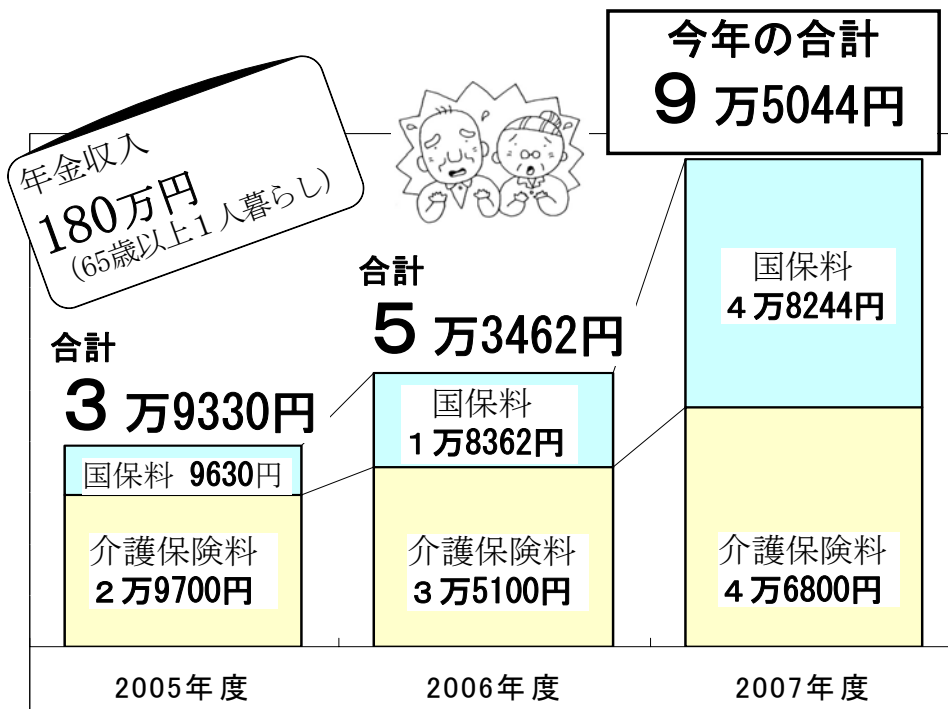
なかつか 亮

高齢者の暮らしを直撃!

国保料9630円が

4万8244円に

国保料+介護保険料の合計も2倍に



品川区議会は先月より第一回定例会が始まり、区長提案や区民請願、共産党の条例提案などの審査が進められています。この中で濱野区長は、国民健康保険料の値上げを提案。共産党は区民委員会にて「これ以上の負担はすべきでない」と反対。自・公・民主ら与党の賛成多数で値上げ提案は可決、最終本会議に送られました。

えっ合計9万円に

上の図をご覧ください。年金収入180万円の高齢者のケースでは、05年度国保料9630円が、今年4万8244円と約5倍に。介護保険料と合わせると合計9万円と2倍近く増えます。

昨年の5月は「何かの間違えではないのか」などの問い合わせや苦情が500件ほど区役所に殺到したほどでした。

住民税が非課税から課税となった高齢者は、昨年続き驚きの負担増。ただがこんな増税を進めたのでしょうか。裏へ

国保料が高くて払えない 今こそ「増税中止」「命・暮らしを守れ」の声を地域から！



増税のルールを

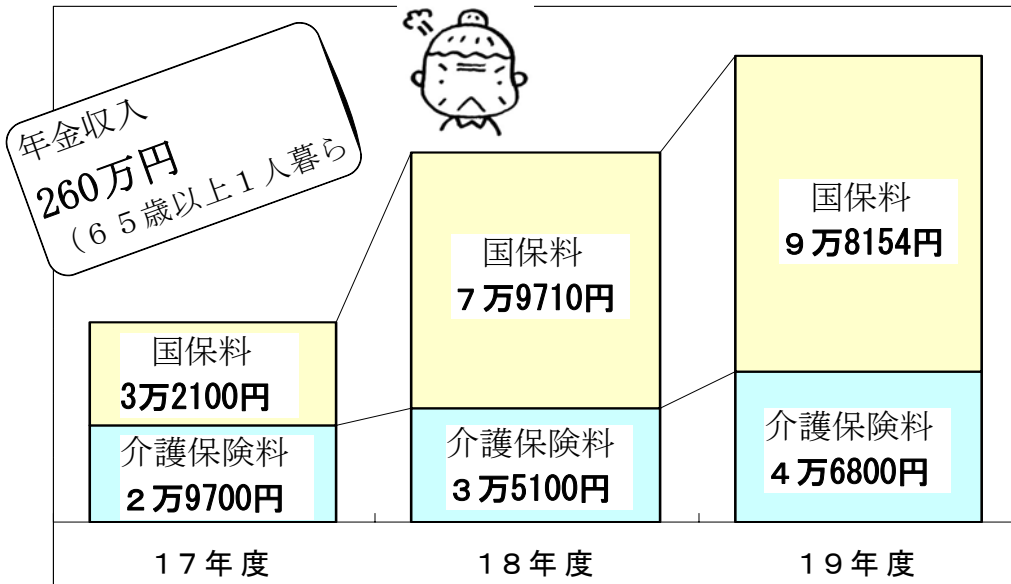
引いた自民・公明

「税金の話は、なんだか解らないが、去年から税金がどんどん上がって、年金から天引きされている」「今年も上がるって本当の話ですか」…。税金の話は少し難しいですが、私は最近の増税は「忘れた頃にやってくる」という感じがします。

高齢者への増税の発端である、年金への課税強化や定率減税の廃止は、政党では公明党が一番はじめに提案し、04年の国会で自民、公明の賛成で成立したものです。品川区議会では、自・公・民・ネットらの賛成多数で可決（共産党のみ反対）で成立しました。

雪だるま式増税に

住民税が上がると介護保険料の段階区分も上がります。国保料では住民税が新たに加わり、所得割りが加算し、連動値上げに。私はこ



年金収入260万円
のケースでは…

それを「雪だるま式増税」と呼んでいます。

もう医者にかかれない

昨年放送のNHKスペシャルは「もう医者にかかれない。ゆきづまる国民健康保険」と題して、全国の国保料大幅に値上げの中で、国保料が高すぎて、払えず、必要な医療を受けることが出来なくなっている高齢者の暮らしを紹介しました。

いのちや健康を脅かす増税は行なうべきではありません。

保険料を引き下げる財源は十分あります。国保料の引き下げは一般財源投入で、介護保険料の引き上げは介護保険の基金を切り崩せば可能です。

今年の増税通知は、区議選告示直前の、4月中旬に送付される予定。私は、今こそ、暮らしを守れの声を地域からあげる時だと思えます。なかつか亮。

2月24日（土）に山中小学校図書室で行なった区政報告会・懇談会は近所の方など約20名が集まりました。ご参加ありがとうございました。なかつか亮。